



学校だより

平成27年特別号
尼崎市立長洲小学校
校長 上田 康夫



平成27年度 全国学力・学習状況調査結果報告のお知らせ

師走の候、保護者の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育にご支援・ご協力を賜りましてお礼申し上げます。

さて本年度、全国学力・学習状況調査を実施し、その結果が出ましたので報告いたします。尚、本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、また、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行われました。小学校6年生の児童を対象に、国語・算数・理科の3教科について、前学年までの指導内容を原則に実施されました。ただ、本調査により、測定できるのは、学力の特定の一部で、学校における教育活動の一側面に過ぎません。しかしながら、学校としましては、結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

1 調査内容

- 全国学力・学習状況調査
- 6年 教科に関する調査（国語A・国語B・算数A・算数B・理科）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 学力調査結果の概要

(1) 概要

教科 区分	国語		算数		理科
	A問題(知識)	B問題(活用)	A問題(知識)	B問題(活用)	—
全国平均との比較	全国平均正答率をやや下回っている。	全国平均正答率を下回っている。	全国平均正答率をやや下回っている。	全国平均正答率をやや下回っている。	全国平均正答率をやや下回っている。

○区分について

- ・A問題・・・基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題
- ・B問題・・・基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題
- ・理科には、A（知識）B（活用）の区分はありません。

(2) 分析

①国語

- ・漢字の読み書きについては、正しく読むこと（招く・信念・承知）はできましたが、正しく書くこと（巢・浴びる・病院）は課題が見られます。間違いやすい漢字について繰り返し練習していく必要があります。
- ・読書体験について書かれた新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題においては、全国平均を上回っていました。このことは、日々の読書活動の成果と考えられます。
- ・文の中における主語と述語、修飾語などを捉えたり、文章の中から必要な情報を読み取ったりすることが難しかったようです。文章を理解したり表現し

たりするときは、主語と述語の関係など文の構成を理解するとともに、文章と資料を関係付けて自分の考えを書いたり話したりする学習を取り入れ、自分の考えをまとめることができるよう学習していきます。

②算数

- ・分数や四則混合の計算については、全国平均を上回っている問題もあり、よく理解できています。また、面積を求めることについての技能も、概ね理解できています。このことは、のびっ子タイムやのびっ子検定などで基礎基本の学力が定着した成果と考えられます。
- ・比較量と割合から基準量を求めることに課題が見られます。また、示された図を読んで、理由を筋道立てて記述する問題にも課題が見られ、無回答率も高かったです。計算から得られる事実を根拠として、自分の考えを説明したり、記述したりする力を身につける必要があります。

③理科

- ・生物の成長に必要な養分や、星座の動きを記録する方法に関することについては、概ね理解できています。また、植物の成長の様子や日光の当たり方から栽培に適した場所を選び、その理由を記述する問題も、全国平均を上回っていました。
- ・顕微鏡など観察器具を適切に操作する場面を設定して習熟を図るとともに、既習事項から観察・実験で得た結果を根拠として、記述する学習に引き続き取り組む必要があると考えます。

3 学習状況調査（生活習慣や学習に関する意識・実態について）

(1) 概要

項目	本校(%)	全国(%)
朝食を毎日食べていますか	80	87.6
自分には、良いところがあると思いますか。	38.3	36.3
将来の夢や目標を持っていますか。	78.3	70.5
普段（月～金）2時間以上テレビ見ている。	73.4	59.2
普段（月～金）2時間以上テレビゲームをしている	34.9	30.2
普段（月～金）2時間以上メールやインターネットをしている。	20	9.8
普段（月～金）学校の授業以外での勉強が、1時間より少ない。	45	37.2
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。	41.7	53.2
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	38.3	62.8
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。	43.4	63.9

(2) 分析

- ・自分を肯定的に捉え、希望を持って自己を伸ばそうとしている姿が見られます。
- ・多くの児童が、将来の夢や希望を持って、学校生活を送っている様子が見られます。
- ・普段2時間以上テレビを見たり、ゲームやインターネットをしたりしている児童が、全国平均と比べても大幅に上回っています。
- ・自分で計画を立てて学習することに課題が見られます。

（裏面へ）

4 本校の取り組み

今後も、次のような取り組みが必要であると考えています。学校でも課題を捉え、より一層の学力向上に努めていきます。ご家庭のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【学校では】

- ・毎朝の健康状況や朝食の有無を引き続きチェックし、児童の実態把握と啓発活動に取り組む。
- ・朝の読書タイムや週末うち読、週1回の図書館を活用した学習活動などに取り組み、児童の読書習慣の定着と向上を図る。
- ・各学年に応じたのびっ子タイム（帯時間）と、月1回ののびっ子検定を実施する。
- ・教師の授業力向上のため研究授業や公開授業、及び研究協議会を実施する。
- ・算数力育成のためT.Tによる指導（5・6年生）を行う。
- ・学習習慣定着のため、家庭学習の内容等を全学年で共通理解するとともに、学力補充の日、放課後学習（3・4・5年生）を実施する。
- ・教室前廊下など児童がいつでも読めるように、新聞を掲示する。
- ・自分で計画を立てて学習を進めていけるように、自主学習ノートを活用し、自主学習の方法や内容を紹介する。

【ご家庭では】

- ・基本的な生活習慣の確立が健康にも学力向上にも大切です。引き続き、「早寝・早起き・朝ごはん」に努めてください。
- ・テレビを見る時間や、ゲーム、携帯・スマートフォン等の使用時間を話し合ってください。生活リズムを見直すとともに、家族の会話を大切にしたり、家庭での学習時間を確保したりすることにつながります。
- ・家庭学習の時間の目安は、〔10分×学年数+α（その子に必要な時間）〕です。低学年のうちから少しずつ、短い時間でいいので家庭での学習習慣を身につけてほしいと願っています。宿題だけでなく、予習・復習、自主学習などを取り入れていくことが望ましいです。
- ・家庭でも読書の機会を増やしましょう。引き続き、うち読へのご協力をお願いします。
- ・社会で起こっている出来事に関心を持つことも大切です。新聞を読んだり、ニュース番組を見たりすることも大切です。例えば、「池上彰さんのニュース解説」は、社会の出来事を分かりやすく紹介している番組です。また、「所さんの目がテン」は、日常生活の出来事を科学的な観点から分かりやすく紹介している番組です。そういった番組を通して、社会や科学に目を向けさせることもできます。